

空と緑 新、呼吸する

'93

9

No. 325

応報

# たまかわ

「あの中に入ってみてみたいな」

そんな子供たちの気持ちにこたえて、全  
日空機による「航空教室」が開かれました。

詳しくは「スペース」



気分はパイロット

# 雲の上の感動

ふるさと創生事業  
中学生国内研修



「空にぽつぽつ浮かぶ白い雲は、下から見上げるだけのもの。今まで、ずっとそう思ってきた。でも、それは、まちがかった。飛行機に乗って、初めて気付いた。白い雲は、上から見ると、その中に入ることもできる。雲を見上げていたのは、自分自身ではなく、自分が立っている位置だった。」(千歳空港から福島空港への空の上で)

雲を自分たちの村に置き換えてみる。すると、ただ何気なく村をみている人ど、村の外や海の向こうから村を真剣に見つめることができる人の視点の違いに気がきます。視点や視野と同じく、人の「意識」も自分をどこに置くかで、見えるものが変わってくる気がします。

今年で4回目になるふるさと創生事業の中学生国内研修に参加した子供たちは、海の上や空の正、村の外から玉川村を見ました。どこに意識をもって何を見て、何を感じてきたのでしょうか。代表で8人の生徒に感想を書いてもらいました。

研修での感動が、子供たちの意識の変革となること、そして、それが玉川村の創造に結びつくことを期待したいと思います。

## 昔の人の技術はすごい

—中尊寺—

我妻広弥(須釜中)

中尊寺を訪ねたのははじめてでしたが、昔の建物がたくさん残っていたのですごいなあと思いました。なかでも金色に輝く金色堂の中には、何体もの美しい仏像があり目をみはるばかりでした。説明では極楽浄土を表わしていると言っていました。なんとなくそんな感じがしました。境内にある建物は、今から



何百年も前に建てられたものです。当時は、機械などではなく全部手作業で作ったはずで

すから、その技術はすごいと思います。

お堂の中には藤原三代のミイラが安置されていると聞いて、どのようになっているのかぜひ見てみたいと思います。現在の科学は、ミイラの骨や髪の毛から血液型が分るのですごいです。また骨の形から体や頭をつくった像もあり、昔の人に会ったようでも不思議な感じでした。ガイドさんの説明を聞いてとても勉強になりました。

## 色の変化が驚きだった

—盛岡手づくり村—

味原理恵(泉中)

私にとって「盛岡手づくり村」での体験は、新鮮な驚きがあり、とてもよい思い出になりました。

私は染め物のコースに参加しました。初めての体験でしたが係の人が親切に教えてくれたので、意外と楽にできました。

まず最初にやったのは、ハンカチに模様をつける作業で

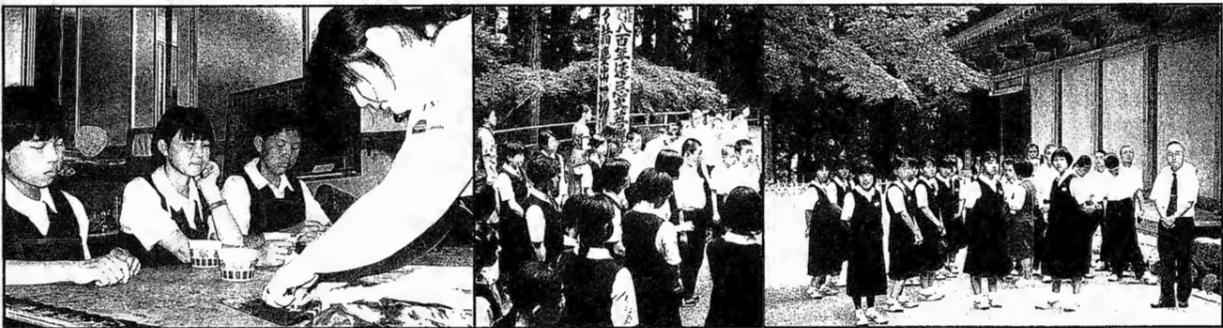


す。ハンカチを折ったり、ビィ玉やわりばしを使ったりして、自分流に模様をつけるの

に一生懸命でした。

次に、ハンカチを染める作業です。黒っぽい少し臭いのする水にひたしてとりだすと、緑色になりました。それが空気にふれると、きれいな藍色に変わっていききました。自分が染めたハンカチを見てとても美しく思えました。それは、色の変化に何ともいえない驚きを感じたせいかもしれません。

染め物の作業をして、とても良い体験ができました。



## 研修のあしあと

今回は、生徒にぜひ福島空港を利用させたいということで、泉中と須釜中が、一日ちがいの日程で研修しました。これは、利用する飛行機が166人乗りで研修参加全員170人が一度に乘れないためです。多少の時間のずれがあると思いますが、今年の研修のあしあとを振り返ってみます。

**1日目** 7:00 役場前で結団式、代表(泉中は真弓和子さん、須釜中は瀬谷ゆう子さん)による決意表明。7:30 出発、須賀川IC(インターチェンジ)から東北自動車道を利用し10:10 一関ICまで。10:20 厳美溪を見学。10:50 毛越寺。11:50 中尊寺(各クラスごとに案内の人から説明を受ける)(昼食) 14:00 平泉前沢ICから盛岡ICへ。15:30 盛岡手づくり村(竹細工や染めものなどのコースに分れて、手作業を体験) 17:10 盛岡ICから東北・八戸自動車道を利用し八戸市へ。(夕食) 20:30 八戸港でフェリーに乗船。

**2日目** 6:20 苫小牧港着 バスに分乗し白老へ。(朝食)

7:20 白老ポトコタン(アイヌの歴史、生活様式などについて研修) 10:40 北海道開拓の村(明治・大正期に建築された建物から、開拓の歴史や、文化の流れを研修)(昼食) 15:20 小樽市内(各クラスごとに分れて自由研修。小樽運河、オルゴール館、北一硝子など) 18:20 札幌市ホテル着(夕食)

**3日目** 8:20 札幌市内を各班ごとに研修(地下鉄を利用し時計台、旧道庁、テレビ塔などを見学) 12:30 ホテルを出発(昼食) 12:50 羊ヶ丘展望台(クラーク氏の銅像前で記念写真) 13:40 真駒内のオリンピック競技場を車窓から見学。14:20 支笏湖 15:30 新千歳空港着(搭乗手続後に生徒がそれぞれ荷物を持って全日空362便に乗る) 16:50 新千歳空港を離陸(機内では席を交換するなどして上空からの景色を楽しむ) 18:05 無事福島空港着。(空港では家族らが出迎える。解団式で泉中は須藤永範くん、須釜中は大野香里さんがお礼のことばを述べ解散)



フェリーは大きい



汗をかきながら歩いた開拓村



札幌といえは……



小樽運河でパチリ



泳ぎにかったなあ 支笏湖



まずは券をもらって



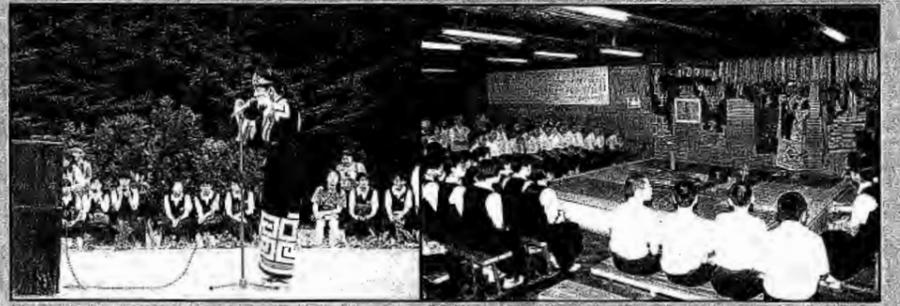
飛行機の中では余裕のピース



インタビューも受けてしまった



家族の出迎えで、疲れも飛んでしまいました



アイヌの文化に触れる

## ムックリは楽しい楽器

—白老ポロトコタン—  
草野 ゆかりさん (須釜中)



北海道研修の2日目の朝に、アイヌの人々の生活などを研修するための白老へ行きました。白老に着くとコタンコクルの大きな像があり、私たちを出迎えてくれているようでした。高さが16mもあるのですごく大きく、迫力がありました。その前で写真を撮ってから、アイヌの歌と踊りを見学しました。ピ

リカの歌は、前にも聞いたことがあるようなメロディで懐かし

く感じました。踊りを見たあと、アイヌの人たちのチセといわれる家の中で、家のつくりや生活などについて説明を受けました。純粋なアイヌ人がだんだん少なくなっていることを聞いてかわいそうだと思います。

## 自然を生かした建物に感心

—北海道開拓の村—

小針 智之くん (泉中)



僕たち泉中の生徒97人が、2日目に行った北海道開拓の村は、出入口が旧札幌停車場になっていました。中に入ると、昔の建物が並んでいて、馬車鉄道もありました。その中で、はじめに目にしたのは、旧小樽新聞社です。外側はレンガづくりになっていて、最初は病院のような感じがしま

した。しかし、いざ中に入ってみると新聞社にしかない機械や

道具が並んでいて、ふと昔にもどった雰囲気でした。

昔、北海道は未開拓の土地で、本州からの人々が開墾したそうです。この開拓の村には、その当時の建物や貴重な道具などが集められていました。そして、僕が一番感心したのは、これらの建物が周りの美しい自然を生かして建てられていることでした。自然を大切にしている北海道の人たちの気持がわかった気がします。また、北海道へ行く機会があったら、もう一度訪れたいと思います。

## 昔の倉庫を上手に利用していた

—小樽市内・北一硝子—  
大野 博志くん (須釜中)



僕は、初めて北海道に行き、2日目の8月4日に小樽市内を班ごとに散策しました。

僕たちの班は、北一硝子やオルゴール堂、小樽運河などを見学しました。

北一硝子には色や形、大きさなどいろいろなガラス製品があつてびっくりしました。ライオンや自動車の形をしたものや

カエルの形のものもあり、どうやって作っているのか見てみた

と思います。オルゴール堂は三階建てで、上から下まで様々なオルゴールでうめつくされていました。それに、昔、倉庫だった建物を上手に利用して、きれいな店になっていたのが印象的でした。小樽は、とてもにぎやかな所で福島にはない素晴らしい景色がたくさんありました。福島県には、この北海道のような雄大な景色はありませんが、自然がたくさんあると思います。この自然を上手に利用すれば、北海道に負けないと思います。

## 札幌は花や緑が多くてきれい

—札幌市内—  
溝井 裕美さん (泉中)



札幌では、各班ごとの自由研修でテレビ塔や時計台を見学しました。

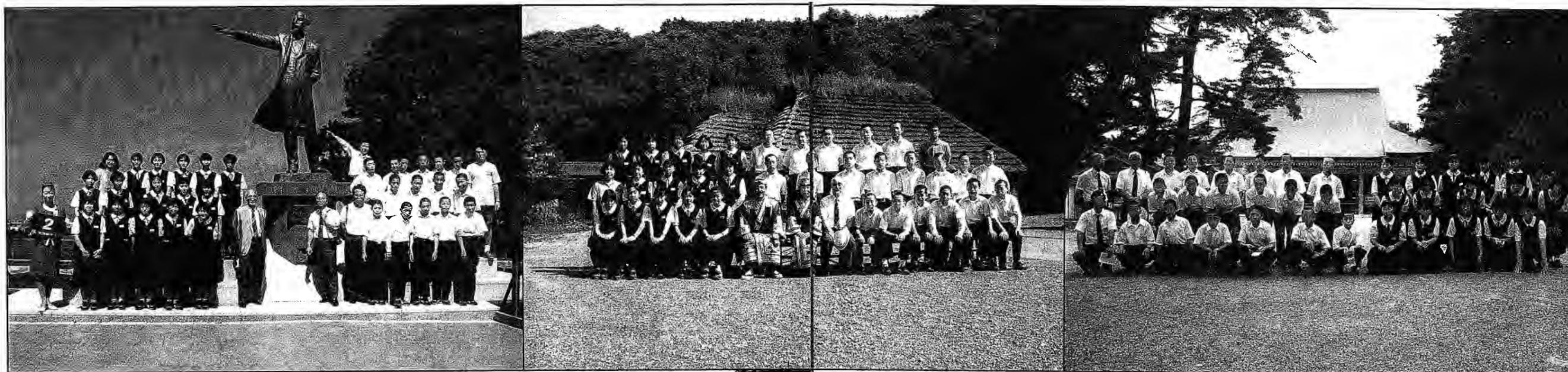
テレビ塔は、東京タワーのようによく似たものでした。6階からの眺めが素晴らしく、大通り公園の噴水や花だんがとてもきれいに見えました。

時計台は、ビルの谷間にありましたが、大きくて見やすいので便利そうでした。中に入って

みると時計の部品を手入れしている写真などがありました。旧北海道庁へ行くのには、道

が分からなくなってしまう人に尋ねながら行きました。旧道庁は赤レンガがきれいで、かすみ草やデルフィニュームやカサブランカなどの花の香りがしました。大通り公園には、とうもろこしやじゃがいもの売店があり、おいしそうでした。札幌は、福島と比べるととても広くて、花や緑も多く、明るく美しいまちでした。

# 記念写真大集合



## ほんの少しの時間が一生の思い出

空港・飛行機 倉鎌憲治くん(泉中)



でした。また、上空からの景色もとても美しく、しばらく眺めていると、あっという間に福島空になりまして。  
そして、飛行機が少し傾いたかなと思っていると、突然見たことのある景色が広がり、初めて福島空港に着陸しました。  
新千歳空港から福島空港までは、ほんの少しの時間でしたが、僕にとっては一生忘れることができない貴重な思い出になりました。

新千歳空港は、僕たちの所にある福島空港とは全く違った規模の国際空港でした。小さい飛行機や大きい飛行機が何十機も止まっていて、その数の多さに驚きました。  
出発の時間が近づくと、僕は初めて飛行機に乗るので、とても緊張してしまいました。そして、僕が生まれて初めて乗った飛行機が翼を大きく広げ、舞い

上がりました。  
飛行機の中で働いているスタッフは、きれいな人たち

## 雲海を初めてみた感動は忘れられない

空港・飛行機

矢吹亜由美さん(須釜中)



私は、今回の北海道研修で初めて飛行機に乗り、福島空港に着陸しました。  
飛行機が新千歳空港を飛び立ってどんどん上にあがっていくと、辺り一面が白い雲になり、雲のすき間からポツポツと家が小さく見えました。空の上から見る雲や景色はとてきれいで、雲海を初めて見た感動は忘

れることができません。  
機内のスタッフは、きれいな人たち

ちは、とてもきれいで親切な人ばかりでした。そのせいか、みんなも安心して席を交換したりして楽しんでいて、あっという間に福島空港に着きました。北海道へ行く時は、すごく遠く感じましたが帰りは近かったです。福島空港の中の施設を利用するのも初めてでしたが、整っていてきれいな場所でした。  
到着した時、みんなは少しづつかかっているようでしたが、迎えて来た家族の人たちを見ると急に元気になりました。初めての飛行機はとて良い思い出です。



## 夏のビックなプレゼント

8月31日、福島空港で須釜小学校四辻分校の子供たちを対象に「航空教室」が開かれました。教室は、子供たちに飛行機や空港のしくみなどを知ってもらおうと全日本空輸(株)福島空港駐在所(吉川邦博所長)が主催。子供たちにとって、夏のビックなプレゼントになりました。



### 7点のハンデを若さで克服

消防団幹部チームが優勝

8/29

第20回玉川村役職員親善ソフトボール大会が村民グラウンドで行われました。大会には、区長会や商工会役員など10チームが出演し、親ほくを深めました。結果は、対戦相手に1点をとられると7点が相手に与えられるという特別ルールを若さで克服した消防団幹部チームが優勝しました。

成績は次のとおり  
優勝 消防団幹部チーム 準優勝 教育チーム  
第3位 村議会議員チーム JA玉川村泉チーム



応援には、チアガールも



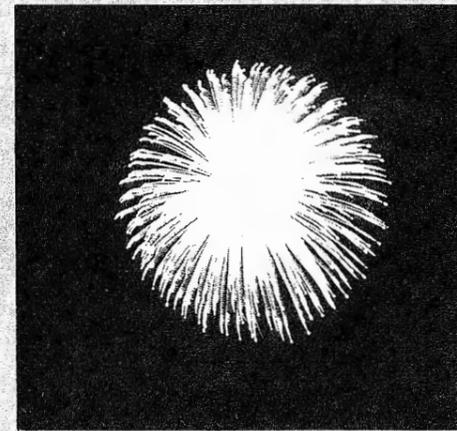
### たまかわをピーアール

8/20

ふくしまビックフェアに参加

8/22

福島市の競馬場で第3回ふくしまビックフェアが開かれ、玉川村からも出展しました。出展したテントには、大勢の人たちが訪れ、村の産品のきゅうりやしいたけ、それに、山鳩のクックちゃんのキャラクターグッズなどを買って求めていました。ビックフェアには村ふるさと物産振興委員会(野崎一幸会長)が中心となって毎年、参加しています。



玉川夏まつりが役場前を会場に行われ、家族づれや帰省客、夏休み中の子供たちでにぎわいました。まつりでは、村内の業者に

### 夏だ 花火だ たまかわ夏まつりだ

8/18

よる出店や金魚すくいなどのほかに、今年初めて「チッコカラオケ大会」が開かれ、子供たちの熱演が会場をわかせていました。また、午後8時過ぎからは玉川花火大会も行われ、玉川の夏の夜空を彩りました。このイベントは夏まつり実行委員会が主催し、村商工会青年部などが中心となって開かれています。

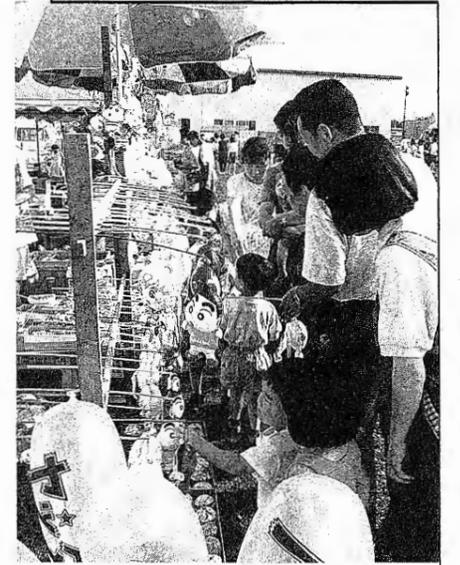


優勝者にはCDロジカで

## たまかわトピックス

—みなさんからの話題をおまちしています—

役場企画調整課 広報係まで



ここでも人気はクレヨンしんちゃん

### ご協力のおかげです

玉川村に県知事表彰

玉川村が個人県民税の賦課徴収の優良町村として県知事表彰を受け、村長室で伝達式が行われました。平成4年度の村の個人県民税徴収率は、99.63%と非常に高く、この功績が認められたものです。

村民の皆さんのご協力に感謝申し上げます。



### キビタンとクックちゃんも活躍

交通安全テント村作戦

8/10

福島空港前の交差点で交通安全テント村作戦を行い、空港利用者や見学者などに安全運転を呼びかけました。参加した村交通安全協会の会員や母の会会員、石川警察署員らは、ミニわらじやパンフレットを配布。また、玉川村がふくしま国体のまスコット「キビタン」や、村のイメージキャラクター「山鳩のクックちゃん」ぬいぐるみも登場し、「安全運転よろしくね」とドライバーらに訴えました。

### 子供の目を見た安全運転

—第15回 交通安全立て看板コンクール—

8/6



石川警察署と石川地方交通安全協会などが主催した、交通安全立て看板コンクールが行われました。審査の結果、須釜中と玉一小の作品が金賞、四辻分校が銀賞、泉中と須釜小が銅賞と村内から出品した作品のほとんどが入賞。これらの作品は、子供の目を見た安全運転を広く地域の人にも分かってもらうために、各地域に設置される予定です。



### 9・10月の健康ごよみ

- 9月
- 22日(水) 機能訓練 ⑤  
午後1時30分～
- 10月
- 1日(金) 血圧デー
- 7日(木) 機能訓練 ⑤  
午後1時30分～
- 8日(金) 乳児検診 ⑤  
午後1時～  
(対象 平成5年5月・6月生)
- 14日(木) 献血車来村
- 15日(金) 1歳6か月児検診 ⑤  
午後1時30分～  
(対象 平成4年2月・3月生)
- ⑤:保健センター

### 寄付ありがとうございます

左記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 記
- 竜崎の佐藤一さんから 3万円
  - 岩法寺の大竹安喜雄さんから 2万円
  - 北須釜の関根勝吉さんから 3万円
  - 南須釜の小原義一さんから 1万円
  - 北須釜の渡辺忠房さんから 2万円
- (村社会福祉協議会)

●開会セレモニー ●管制塔、気象台、GSE車両、除雪機械等の見学会。また、飛行機A320の見学会と航空教室 ●パイロット、スチュワーデスの衣装試着しての記念撮影会 ●送迎デッキの無料開放 ●福島空港就航先のPRコーナー、物産展

●「福島空港とまちづくり」をテーマにした、田畑彦衛門氏の講演会。

●「9月20日(日)」の「空の日」イベント

●「9月19日(日)」の「空の日」イベント

村のようす  
(5年8月1日現在)

1,703戸(±0)

7,632人(+7)

3,766人(+4)

3,866人(+3)

### 今月の納税

国民年金保険料 9月分

国民健康保険税 第3期分

(納期限は9月27日(月)です。忘れずに納めましょう)

△必要書類▽  
認定請求書、認定診断書、世帯全員の住民票、扶養義務者が特定できる戸籍、本人名義の銀行等通帳の写し。  
その他、詳しいことについては、役場住民課福祉係までお問い合わせください。

## 福島空港に集まれ!!

9月20日は空の日です。この日にちなんで9月19日(日)と9月20日(月)の2日間、福島空港ターミナルでイベントが開かれます。ご家族おそろいでお出かけください。

### お誕生おめでとうございます

(8月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
川辺	鈴木 丈涉	正 勉
小高	車田 敬斗	孝 司
岩法寺	有賀 友香	豊 栄
〃	迎 祐也	政 幸
竜崎	柳 沼志	勝 広
南須釜	大野 陵史	利 一
〃	目黒 愛香	今朝夫
〃	溝井 佑太郎	潤 一
北須釜	矢吹 達也	
四辻新田	須田 有理	

### おくやみ申し上げます

(8月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
岩法寺	大竹 重昭	66	安喜雄
竜崎	佐藤 吉一	91	一
南須釜	小原 義正	85	義 一
北須釜	関根 キヨ	99	資 郎
〃	渡邊 金一	73	忠 房



玉川夏まつりから

くらしの情報

### あなたの歴史を女性史に

福島県では、女性史編さんのために、一般の人からの生活体験等の手記を募集しています。

●募集するテーマ ①明治・大正・昭和初期・戦中・戦後の女性の教育、家庭環境、結婚、子育て、労働について ②戦争中・終戦直後の女性の食生活、空襲、挺身隊、引き揚げなどについて ③農業、製糸工場、炭鉱等で働いた女性の状況 ④明治・大正期の高齢女性の生活(母、祖母の状況)

●書き方 400字詰め原稿用紙5枚以内(2000字以内)とする。テーマ、住所、氏名、生年月日、電話番号を記入する。

●募集期限 平成5年10月31日まで

●送付先 〒960 福島市杉妻町2-16「福島県青少年婦人課婦人行政係」☎0245(21)7189

### 定期点検整備促進運動実施中

車の点検整備は、ドライバーの基本です。小さなトラブルが思わぬ事故を招くことも……。クルマにも愛情をもつて接することが大切です。

定期点検整備についてのお問い合わせは「東北運輸局福島陸運支局」☎0245(46)0345(整備課まで)

### 悩みや苦情はまず相談

行政相談委員は、住民の皆さんが困っていることや要望したいことの相談に応じ、その解決のお手伝いをします。相談の内容は役所や公団・公庫、NTT、JRなどの仕事についてです。

相談委員は、いつでも相談に応じます。が、期間中は、次により相談所を開きます。

●とき 平成5年10月19日

●ところ 役場北庁舎(午前9時から12時) 須釜公民館(午後1時30分から午後4時)

村の相談委員は首藤信勝さん(小高) ☎57-2507です。お気軽にご相談下さい。

### お気軽にご相談を

10月1日は「法の日」です。福島県司法書士会では、登記や供託の手続き、訴訟書類の作成などについて無料法律相談会を行います。

●とき 平成5年10月1日 午前10時から午後3時まで

●ところ 石川町商工会館

●相談員 福島県司法書士会会員

詳しくは ☎0245(34)7502

### NHK学園の通信講座で学習を

NHK学園では、秋期の生涯学習講座受講生を募集しています。

●講座 教養と趣味を深めるための毛筆「日常の書」書道、硬筆、俳句、短歌、囲碁など71講座。

●申込受付 10月31日まで

詳しい案内書をご希望の方は、〒186-01 NHK学園8E51係にハガキで請求して下さい。 ☎0425(72)3151

### シルバーフェスティバル

10/9・10/10 参加者募集

福島県では長寿社会県民憲章策定、老人福祉法施行30周年を記念して「シルバーフェスティバル」を開きます。

●とき 平成5年10月9日・10日

●ところ あづま総合運動公園

●内容 ウルトラクイズ大会、大芋煮大会、世代間ウォークラリー(参加希望者は9月20日までに申込みを)

詳しくは、事務局へ(県高齢福祉課) ☎0245(21)7165まで。

### 知っていますか? ヤング・テレホン・コーナー

ヤング・テレホン・コーナーは、悩んでいる子供のための電話相談です。友達や学校、家庭のことなどで悩んでいる人、子供の非行で悩んでいる保護者もご利用下さい。 ☎0249(34)7887

### 税 地価税の申告と納付

地価税は、個人または法人が保有する土地などを対象として年々課税される税金です。その年の1月1日において課税される土地を有し、その価額の合計額が基礎控除額を越える場合には、地価税の申告書を納税地を所轄する税務署へ提出する必要があります。詳しくは、最寄りの税務署まで。

この手当は、精神または身体に著しい重度の障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする程度の障害の状態にある20歳以上の者に支給される手当です。しかし、その方が身体障害者療養施設等、その他これに

類する施設に入所している時や、病院または診療所に継続して3か月以上収容されている場合は、支給の対象にはなりません。あくまでも在宅に限られます。

△手当額▽平成5年度 月額 二万四千六百三十円

△支給の限度▽ 受給資格者または配偶者もしくは扶養義務者の前年の所得が一定額以上の場合には制限されます。

△必要書類▽ 認定請求書、認定診断書、世帯全員の住民票、扶養義務者が特定できる戸籍、本人名義の銀行等通帳の写し。

その他、詳しいことについては、役場住民課福祉係までお問い合わせください。

# 思い出のアルバム ③



村民の皆さんから、昔のなつかしい写真を募集しています。お持ちの方は広報係まで。

## 「はだしのバレーボール大会」

「今、思うと、あのギリギリした太陽の下、よくはだしでバレーができたものですね」写真を提供してくれた矢吹節子さん(山小屋)が思い出を語ってくれました。

この写真は昭和29年8月ごろ石川町の石川中校庭で行われた石川郡中学校バレーボール大会での記念写真です。写っているのは須釜中学校バレー部員と先生方。生徒は2年生が2人で、残りは全員が3年生です。須釜中学校から会場まではバスで移動しました。大会での成績は、残念ながら一回戦で負けてしまったとの事。胸のSマークとハチマキ姿は、とても強そうに見えるのですが……。

## たまかわの皆さん お元気ですか

—東京玉川会員だより—

### 「故郷玉川・東京玉川会」

千葉県市川市  
矢吹金吉さん(北須釜出身)



皆様お元気ですか。私は今、この東京玉川会を発足された人たちに、とても感謝しています。会に入会して、総会では同級生や幼なじみに会えたり、近くに住んでいると分かった人と連絡をとったりして、思い出話に花をさかせています。

私が故郷を離れてから、40年が過ぎました。東京で25年暮らし、その後現在の市川へ移転しています。玉川村が空港の開港で変わったのと同じように、この市川市も、移転当時とはずい分と変わりました。でも、行徳塩浜には昔からの寺院や神社が大切に保存されています。また、ほおずき・朝顔市やおみこし・山車など様々な伝統行事や懐かしい風習も残されており、季節ごとに楽しんでいます。

私が住んでいるところから、皇太子様と雅子様が大トナされた新浜鴨場までは車で3分、東京デイズニールランドや臨海葛飾水族館、幕張メッセまでは車で10分です。また、東西線や京葉線も通っており、東京駅までは20分位と、とても便利です。

しかし、新しい町での知り合いは少なく、田舎のような茶飲み友達がいないのが残念です。そんな折、この会に入会できほんとうに良かったと思います。毎月送られてくる広報からは、村のでき事や変わりいく風景などを知ることができ、とても楽しみにしています。会員の皆様、村民の皆様、今後ともよろしくお願ひいたします。